

国際教養学科 vol.1

2022（令和4）年度 清麗祭ご案内

2年ぶりの学祭開催に現代文化学科・国際教養学科も成果を発表します。ご来場をお待ちしています。（講演会は会場の都合から希望者若干名受け付けます。事前に国際教養学科教員にお知らせ下さい。）

博物館【6号館1階博物館】

25日11：30～16：00

26日10：00～15：00

○博物館実習生による展示解説

○体験学習(勾玉作り、砂絵作り)

ひよっこ学芸員がご来場をお待ちしています！



講演会「友とは」

6月25日 13:00-14:30【211】

講師 高橋大作氏（新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会理事 札幌彫刻美術館友の会会長 ペシャワール会 イースター・ビレッジ・ミンダナオを支える会 ケニア政府登録NGO EYO・チルドレン・センター 会員 日本ファータイル取締役 龍盛貿易顧問）

* 参加希望者若干名受け付けます。

SDGs現代文化2年演習成果発表

【7号館2階】25日終日、26日15時まで。

学修の成果発表、クイズ作成、解説動画の作成を紹介します。

2015年9月の国連サミットにおいて、加盟国の全会一致で採択された国際目標で、「これから生きる地球上すべての人々の教養」ということもできるでしょう。札幌国際大学でもSDGs教育に力を入れています。その一端をご紹介します。



(画像出典 国連広報センターより)

多文化言語コース

6月26日【211】プレゼン発表 13：00—14：00

コロナ禍で停滞しているものの、多文化多言語化が進むニセコ町での研修について発表します。高橋牧場では、ニセコ町の歴史や産業、国際化の進展を学びました。また、ニセコ町には5名の国際交流員が駐在しており、カナダへの留学に向けて国際交流員に自分の留学の目標を発表し、フィードバックの成果をお伝えします。



文化共創コース

6月26日【211】プレゼン発表 13：00—14：00

文化共創コースでは、かつて北海道経済の中心地として栄えた港町小樽を研修で訪れました。小樽市総合博物館運河館を起点に歴史を見つめ、グループに分かれ歴史的建造物・菓子・酒造り・観光・工芸品および市場など、コンテンツごとにフィールドワークを行い、まち歩きから感じた地域独自の資源価値の魅力や今後の可能性について、レポートします。

国際コミュニケーションコース

6月26日【211】プレゼン発表 13：00—14：00

コロナウイルス感染拡大により、インバウンドが途絶え、観光地域小樽は大きな痛手を負うとともに、その影響は小樽経済にも波及しています。このような中、小樽フィールドワークを通して、感じたことを発表し、インバウンド需要の回復を見据え、地域と札幌国際大学が連携して持続可能なビジネスや街づくりを提案します。

